

工種	下水道工事(2)	工事番号	下第59号	設計年月日	令和2年 7月
工事箇所	小矢部市 島 地内				
令和 2 年度					
県河川工事に伴う					
島地区管移設工事					
小 矢 部 市					
建設リサイクル法対象外工事					
請 負 金 額		工 期	令和2年 8月 6日		
			令和3年 3月25日		

< 理 由 >

本工事は、農地防災 庄川左岸三期地区 茶ノ木排水路工事（事業主体：富山県）に伴うものであり、汚水ポンプ圧送管の移設を行うものである。

< 概 要 >

○延 長	1 8 . 2 m
○管布設延長	1 5 . 4 m
ダクタイル铸铁管（φ75）	1 5 . 4 m
○仮 設 管 （φ75）	2 6 . 9 m
○附 帯 工	1 式

特記仕様書

工事名：県河川工事に伴う島地区管移設工事

（一般関係）

第1条 一般

この特記仕様書は、「土木工事共通仕様書(富山県土木部)令和元年10月」第1編共通編1-1-1-2の第6項に基づき、当該工事に必要な事項について定めるものとする。

本工事の施工にあたっては、特記仕様書及び共通仕様書の他、これに付随する関係基準図書等に基づいて適正に施工すること。

第2条 安全教育・訓練の実施

- 1 労働安全衛生法等に基づき日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、「安全教育・訓練等の実施要領」により、月当たり半日以上の頻度で実施するものとする。
- 2 実施項目について「土木工事共通仕様書」第1-1-5条施工計画書の記載事項として「(4)安全管理」に含め、「安全教育・訓練の実施要領」の様式-1により工事の内容に即した安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督職員に提出するものとする。
- 3 安全・訓練等の実施については、「安全教育・訓練等の実施要領」の様式-2により安全教育・訓練等の実施毎に記録写真等を撮影し、監督員及び検査員の請求があった場合は直ちに提示しなければならない。

第3条 工事実施前の措置及び事前事後調査

- 1 既存構造物に接近するとき、又は、撤去する場合には、関係者立会のうえ、現況に写真撮影、測量等の記録をした後、工事施工を行う。
- 2 請負者は、あらかじめ沿道（周辺も含む）構造物等について事前調査を行い、善良な管理義務を怠ったことにより、物件に被害が認められた場合は、請負者が責任を持って処理するものとする。

第4条 測量

- 1 請負者は、契約後指定の基準点に基づきすみやかに必要な測量を行うこと。
- 2 仮B.Mは、位置高さの変動のないよう、適切な保護をすること。
- 3 構造物が設計図書どおり築造できない場合や、設計図書等に記載のないものについては、監督員と協議すること。

第5条 地場産品の優先使用

本工事に使用する資材等は、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には県内地産品を優先使用するものとする。

第6条 コンクリート配合（使用の場合）

使用目的別の配合緒元は次表のとおりとする。

番号	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の 最大寸法(mm)	W/C (%)	C (kg/mm ³)	セメントの種類	使用目的
1	18	8	40	60以下	—	BB	巻立工

高炉セメントを使用したコンクリートは初期養生に留意する。

第7条 コンクリートの水セメント比

コンクリートの水セメント比は第7条コンクリート配合を遵守すること。指定した呼び強度に対して、セメント比が確保できない場合は、上位規格を用いるものとする。

第8条 下請け関係の適正化

本工事を下請けに付す場合は、「建設工事の下請け関係の適正化に関する留意事項（共通仕様書）」を遵守すること。

平成25年度より、施工体制の明確化、契約約款との整合のため、建設工事における下請負契約は、契約金額にかかわらず下請負届を書面で届出するものとする。

また、平成27年度より、下請企業と建設労働者との関係を正しく認識するため、施工体制台帳、再下請通知書・作業員名簿を下請負届に添付して届出するものとする。

第9条 産業廃棄物の適正処分

本工事から発生する産業廃棄物の処分は、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理しなければならない。

第10条 低入札となった場合における技術者の増員等

- 1 工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもっと入札した業者が請負者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めるものとする。

（1）建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合

専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあつては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事にあつては主任技術者になり得る資格を有する者を1人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、請負者と3ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。

（2）建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられていない工事の場合

同法の規定により配置が義務付けられている技術者を専任にて配置するものとする。

（工程関係）

第11条 工程関係

- 1 工事により通行止めとなる場合、出入りに支障が出る関係者へ工事期間等の説明と協議を行い、要望があった場合は出来る限り対応すること。

第12条 公害防止

土砂の搬出等による公道等の路面汚損防止のため、路面が汚れた場合は、直ちに路面清掃を行うものとする。

(安全対策関係)

第13条 事故報告及び応急措置

- 1 請負者は、工事中事故があったときは、直ちに所定の措置を講ずるとともに、監督員に通報し、事故発生の原因、経過、事故による被害内容及び今後の対策を講じた事故報告書を提出すること。
- 2 請負者は、施工管理上の落ち度により第三者にあたえた被害について、請負者の負担により、措置を講ずるとともに、その内容を監督員に報告すること。

第14条 安全対策

- 1 請負者は、工事期間中、安全管理要員等を配置し、工事区域内全般の巡視、点検、連絡調整等を行い安全確保に努めなければならない。

交通誘導員の有無	配置人数		時間帯	期間	備考
無	A一人	B一人	—	一日	

※ 交通誘導員の算定には「土木工事標準積算基準書（共通編）富山県土木部」【第Ⅰ編第12章その他】における「作業日当り標準作業量」に基づき定めたものであり、「作業日当り標準作業量」に満たない場合における交通誘導員の変更は認めない。

但し、明示した条件に変更が生じた場合は変更理由を明確にし、変更の協議を行うものとする。

【条件変更例】

- ①工事区間、箇所、工期及び設計数量が変更になった場合。
 - ②工事中止命令等により、臨時の措置が必要となった場合。
 - ③地元打合せ、警察協議等で条件を付された場合。
 - ④施工方法による大幅な変更があった場合。
- 2 請負者は、機械器具、不要土砂等を交通及び保安上の障害とならないように使用のつど整備し、又は、現場外へ搬出し、工事現場内は常に整頓しておくこと。
 - 3 市道部において路盤で交通解放する場合は、舗装完了まで常に点検し補足材にて補修すること。
 - 4 国道及び県道においては路盤のまま交通解放は行わないこと。舗装仮復旧後の交通解放を厳守のこと。

(工事用道路関係)

第15条 工事用道路関係

- 1 運搬路に使用する道路は破損防止のために出来る限り養生等を行うこと。舗装等の補修が必要になった場合は監督員と協議し、補修しなければならない。

(建設発生土・建設副産物関係)

第16条 建設発生土

建設発生土については、一部埋戻しに流用するものとし、その他は片道運搬距離 6.0km 以下の小矢部市安楽寺地内の公共残土仮置場へ搬出するものとする。

搬出先は積算上の明示条件であり、請負者の明示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、施設の受入れが困難な場合等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

第17条 ~~建設副産物（建設リサイクル法の対象の工事）~~

~~1 本工事は建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律（以下、建設リサイクル法という）の対象建設工事であり、特定建設資材について分別解体等及び再資源化等を実施するものとする。~~

~~2 請負者は、建設リサイクル法 12 条に基づき、施工計画書に以下の内容を明記し、監督員へ説明するものとする。~~

- ~~・解体工事である場合は、解体する建築物等の構造~~
- ~~・新築工事等である場合は、使用する特定資材の種類~~
- ~~・工事着手時期及び工程の概要~~
- ~~・分別解体の概要~~
- ~~・解体工事である場合は、解体する建築物等に建設資材の量の見込み~~

~~3 本工事における特定資材の再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。~~

~~ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。~~

1) 分別解体等の方法

	工程	作業内容	分別解体の方法 (解体工事のみ)
工程ごとの 作業 内容及び 解体 方法	① 仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	② 土工	土工事 ■有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③ 基礎	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④ 本体構造	本体構造の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤ 本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥ その他 舗装構造物撤去	その他の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

2) 再資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び処理量

特定建設資材廃棄物の種類	処理量
コンクリート塊	—
アスファルト塊	—
建設発生木材	—

コンクリート塊は、径 30cm 程度に破碎するものとする。

- 4 請負者は、特定建設資材の分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法 18 条に基づき、以下の事項を書面にて記載し、監督員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン（富山県土木部）」（平成 14 年 6 月）に定めた様式 1、「再生資源利用計画書（実施書）」及び様式 2「再生資源利用促進計画書（実施書）」を兼ねるものとする。
- ・再資源化が完了した年月日
 - ・再資源化をした施設の名称及び所在地
 - ・再資源化に要した費用
- 5 請負者は、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類（マニフェスト等）を保管しておくこと。監督員からの請求があれば速やかにその写しを提示するものとする。運搬、処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書を監督員に提示するものとする。

第 18 条 再生材の利用

次表の基礎碎石には再生碎石を使用するものとする。品質については、下表の資材は、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途別暫定品質基準（案）」に基づくものとする。なお、再生碎石の入手が困難な場合は、監督員と協議のうえ碎石（新材）に変更できるものとする。

工 種	品 種	使用箇所
舗装工	RC-40	路盤工

（工事支障物件等）

第 19 条 工事用支障物件

- 1 工事中障害物件が発見された場合、監督員に報告し、管理者と監督者と三者で協議し、移設、切回し、又は、防護を行うこと。
- 2 監督員への報告、関係機関への連絡及び立ち会いを怠り、障害物件を処理したときに生じた損害については全て請負者の負担とする。

（施工関係）

第 20 条 仮設管設置について

仮設管の施工については、関係者と協議を行ってから施工すること。

第 21 条 埋戻し土の締固め密度

- 1 人力施工（タンパ及び振動ローラー）で行う下層路盤の 1 層仕上がり厚は 15 cm 以下、流用土路体部の 1 層仕上がり厚は 20 cm 以下とすること。
- 2 下水道施設の地震時の液状化対策として、施工箇所の地下水位が常時あるいは一時的に高くなる場所においては、埋戻し土の締固め度を 90 % 以上確保するものとする。
- 3 試験箇所はおおむね 100 m に 1 箇所の頻度で路体、路床、路盤、表層の密度を測定することを標準とし、それによりがたい場合は監督員と協議すること。
- 4 密度試験は、路体部、路床部において、深さ方向に層の上部と下部で各 1 箇所実施すること。
- 5 県道占用工事の場合、着工前と完成の対比、巻き出し全層における「転圧状況及び検測」ならびに埋戻し材料毎の「現場密度試験」の写真を工事写真帳と別に整理して 2 部提出すること。なお、これらの写真がない場合、道路管理者から、転圧、密度試験をやり直す命令が出る場合があるので、留意すること。

第 22 条 工事現場における表示施設（工事看板）

- 1 平成 24 年 6 月 6 日付けの「工事現場における標示施設等の設置基準(案)」の運用について（上下水道課長通知）に基づくこと。
- 2 看板配置図、保安施設図、歩道迂回路図は交通安全計画に記載すること。なお、現地設置後、発注者側より追加及び是正指示があった場合は、速やかに対応すること。

（その他）

第 23 条 その他

その他、定めがない事項について疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

提出書類について（補足事項）

○通行制限

- ・市道においては請負者自ら小矢部市都市建設課へ申請のこと。
- ・国・県道においては上下水道課からの申請となるので、位置図、安全施設（看板）配置図、交通規制図、安全対策を6部提出のこと。
（交通規制図は、各々の現場と整合したものとし、バリケード、交通誘導員、工事用信号機停止看板、保安等、チューブライトを明記すること。）

○工事材料使用願

- ・製品ごとの日付、あて先は記入のうえ提出すること。

○施工計画書

- ・記入項目は共通仕様書 1-1-5 条を参照。
出来形管理、品質管理は必要測定項目を挙げること。
（富山県土木工事施工管理基準に準じる。）
本工事に携わる作業主任者（有資格者）を明記すること。
- ・監督員と打合せの上、段階確認計画を記入のこと。
舗装コアの確認は段階確認で行い、直ちに埋めること。
- ・施工計画書の記載内容に重要な変更が生じた場合はその都度該当工事に着手する前に変更施工計画書を提出のこと。
- ・請負代金 200 万円未満の場合、施工計画書は提出不要。ただし監督員から請求があった場合は速やかに提示のこと。
- ・請負代金 1000 万円未満の場合は施工計画書の項目（1～6 及び 13、14）を省略できる。ただし監督員から請求があった場合は速やかに提示のこと。

○打合せ簿（その都度）

- ・設計図面と異なる場合の協議は、平面・縦断図・横断図に赤書きし、その他写真・資料等を添付してわかりやすくすること。

○完成時の提出書類

- ・平成 18 年 3 月 22 日付小検第 12 号「工事請負完成検査及び業務委託完了検査の必要書類について」を参照
 - ・出来形管理図について
施工延長（全体、管種、口径別）、管布設延長（管種、口径別）、マンホール設置個数（規格別）、公共樹設置個数の総括表を記載のこと。
公共樹及び取付管出来形管理図には、支管設置位置（上流マンホール芯からの延長）、取付管布設延長（水平、築造延長）を記載のこと。
 - ・カメラ調査報告書
 - ・公共樹設置確認書
- ※管理図は A 4，A 3 サイズとする。

小矢部市下水道工事現場写真撮影基準

工種区分	撮影事項	撮影頻度	撮影要領（内容・留意事項）
全景	工事着手前	施工前後に路線ごと	・施工前後を同一箇所で同一方向から比較できること。 ・起終点（各マンホール芯）にはポール等を立てるなど明示する。 ・管路施設においては路線ごと。 ・終点が明白でない場合は、終点側からも撮影する。
	工事竣工時		
試験掘り その他	試験掘り状況	箇所ごと	・試掘地先、種類、深度、管種、管径等を黒板に明示する。
	家屋調査	主要な箇所	・工事影響範囲に入ると推定される家屋その他工作物の事前・事後調査写真で対比できること。
舗装取り壊し	舗装切断 舗装取り壊し	舗装種別または1 路線1箇所	・カッター作業、舗装取り壊し状況、幅、厚さがわかること。
掘削	掘削状況	マンホール間で1 枚以上	・作業員、使用掘削機等の状況が同時に確認できること。
埋戻し	埋戻し状況 転圧状況	マンホール間で1 枚以上	・層厚及び転圧状況が確認できること。 ・転圧完了状況の全景を撮影する。 ・路床、路体また材料ごとに1枚程度の撮影とする。
残土処理	搬入前	主要な箇所	・土場が搬入前で全景が把握できること。
	運搬作業	主要な箇所	・運搬機種積込機種の状況が確認できること。
	搬入後	主要な箇所	・土場が搬入後で全景が搬入前と対比できること。 ・必要に応じて土量が確認できようにすること。
廃材処理 (As,Co)	運搬作業	主要な箇所	・運搬機種積込機種の状況が確認できること。
基礎工	基礎状況	マンホール間で1 枚以上	・人力の転圧状況・基礎材の投入方法が確認できること。
	基礎寸法	マンホール間で1 枚以上	・深さ、幅寸法を確認できること。
布設工	布設状況 布設完了	マンホール間で原則3箇所程度	・一連番号をペイントし布設状況が確認できること。（排水方向を管に「矢印」で記入） ・布設完了後の全景写真も撮影すること。
	マンホール接続状況	1カ所に1枚以上	・マンホールとの接続状況が確認できること。
マンホール設置工	基礎状況 設置状況	1箇所1枚以上	・基礎転圧作業後の厚さ・幅寸法が確認できること。 ・目地シール、可とう継手の設置状況が確認できること。

	副管設置状況	1 箇所 1 枚以上	・配管接続完了及び出来高寸法が確認できること。
汚水桝、取付管設置工	設置状況	1 箇所 1 枚以上	・汚水桝、立管、取付管、継手、曲管、支管等の設置完了状況が確認できること。 ・布設完了後の全景写真も撮影すること。
路盤工	施工状況	マンホール間で 1 枚以上	・各路盤厚さ、幅寸法及び転圧状況が確認できること。 ・転圧完了後の全景を撮影すること。
舗装工	施工状況	マンホール間で 1 枚以上	・舗装厚さ、幅寸法及び舗設、転圧、乳剤散布状況が確認できること。
仮設工	土留材寸法	1 箇所 1 枚以上	・使用材料の寸法。
	土留設置撤去状況	1 箇所 1 枚以上	・機械、人員配置がわかること。
	水替状況	主要な箇所	・ポンプの口径・台数・釜場を確認できること。
	排水状況	主要な箇所	・沈殿槽、排水先が確認できること。
	工事標識	主要な箇所	・各種標識類設置状況・保安設備・交通規制実施状況がわかること。
	安全施設 夜間照明	1 路線 1 枚以上	・休日、夜間の保安状況も確認できること。
	現場事務所、便所	1 箇所 1 枚以上	・設置状況がわかること。

◎ 注意事項

- ・ 撮影の目的を理解し、目的に合った写真を撮影すること。また、遠景・近景を取り入れ背景、構図や撮影方法を工夫すること。
- ・ そもそも下水道工事であり、下水道施設（本管、取付管、マンホール等）の撮影に重点を置くものとする。特に不可視部で、不明水浸入等の原因となりやすい接続部については部分写真等で細部がわかる撮影を心がける。
- ・ 土工事等（掘削、埋戻し、舗装等）について、施工管理や出来高管理を基準通りに行なうことは当然であるが、いたずらに写真の枚数を増やす必要はない。
- ・ 不可視部の出来形が写真で明確に判断できるように撮影すること。

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数	0002 上下水道課 実施設計書 当初 0			
適用単価 適用単価地区 単価適用年月日	1 実施単価 07 砺波地区 0-02. 06. 15 (0)			
諸経費体系	1 公共			
	当 世 代	前 世 代		
前払率 諸経費工種 労務費補正 電力区分 施工地域区分 寒冷地区分 緊急工事区分 契約保証区分 消費税率 (%)	40 18 下水道 (2) 01 割増なし 02 臨時低圧電力 12 補正無し 01 補正なし 00 通常 03 補正なし 10			

本工事費内訳表

頁0-0002

	費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										X1000	
管路(仮設管)										Y1A01	
管路施設材料費及び管布設工										Y2A0101	
	硬質塩化ビニル管布設工 φ 75mm									V0901	0
		26.9	m								
	RR形継手工（離脱） φ 75mm									V0902	0
		3	口								
	メカニカル特殊継手工 φ 75mm以下									V0903	0
		16	口								
	硬質塩化ビニル管 HIVP φ 75×5000									W0001	
		6	本								
	塩ビ管用曲管（離脱防止金具付） φ 75×90°									W0001	
		2	組								
	塩ビ管用曲管（離脱防止金具付） φ 75×45°									W0001	
		2	組								

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	塩ビ管用曲管（離脱防止金具付） φ75×22° 1/2									W0001	
		2		組							
	離脱防止金具（筒形） φ75									W0001	
		3		個							
	VCトレスサー φ75									W0001	
		2		個							
	H形鋼賃料 H形鋼 200型 使用回数 1回 L=10.0m									S9721 0 A=1, E=2, F=1, G=1	施工 第0-0004号表
		0.5		t							
土工										Y2A0101	
	バックホウ床掘 土砂 施工方法 上記以外(小規模)									SP2010 0 A=1, B=5	施工 第0-0005号表
		1		m3							
	機械投入埋戻工（流用土路体） 流用土									S6807 0 A=3, B=4	施工 第0-0006号表
		0.4		m3							
	機械投入埋戻工（山砂基礎） 砂									S6807 0 A=3, B=1, C=1.1	施工 第0-0008号表
		0.4		m3							
残土処理										Y3A010101	

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
ダンプトラック運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)									SP2002 0 A=2, B=5, C=1, D=1, E=14	
	0.5		m3						施工 第0-0009号表	
処分費等									#0044 A=1, B=1, C=4	
公共用残土仮置場（搬入）									TST01 0	
	0.5		m3							
開削水替工									Y2A0101	
開削水替									Y3A010101	
	1		式						工種 第0001号表	
附帯工（仮設）									Y1A01	
舗装工									Y2A0101	
舗装工（砂利）									Y3A010101	
路盤工 路盤厚10cm 全仕上り厚100mm									SP4003 0 A=100, B=1, C=3	
	2		m2						施工 第0-0012号表	

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
管路(移設管)						Y1A01
管路施設材料費及び管布設工						Y2A0101
铸铁管布設工（機械） φ 75mm以下	15.4	m				V0904 0 施工 第0-0013号表
铸铁管切断工（エンジンカッター） φ 75mm	5	口				V0905 0 施工 第0-0014号表
GX形継手工（直管） φ 75mm	6	口				V0906 0 施工 第0-0015号表
GX形継手工（異形管） φ 75mm	4	口				V0907 0 施工 第0-0016号表
GX形継手工（異形管）G-Link φ 75mm	5	口				V0908 0 施工 第0-0017号表
伸縮可とう管設置工 φ 100以下	1	基				V0909 0 施工 第0-0018号表
フランジ継手工 φ 75mm(80)以下	3	口				V0910 0 施工 第0-0019号表

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
2号マンホール現場削孔費 φ75						W0001
	1		箇所			
ステンレスッキングカバー（80A×20t） （ポリエチレンフォーム、ポリエチレンフィルム含む）						W0001
施工手間含む	4.6		m			
DIP GX形 直管S種（内面粉体塗装） φ75×4000						W0001
	6		本			
DIP GX形 曲管（内面粉体塗装） φ75×45°						W0001
	1		個			
DIP GX形 曲管（内面粉体塗装） φ75×22° 1/2						W0001
	5		個			
DIP GX形 曲管（内面粉体塗装） φ75×11° 1/4						W0001
	2		個			
DIP GX形 短管1号（内面粉体塗装） φ75 GF7.5K						W0001
	1		個			
DIP GX形 短管2号（内面粉体塗装） φ75 GF7.5K						W0001
	2		個			
伸縮可とう管 F+F φ75						W0001
	1		個			

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
GX形 ライフ φ 75						W0001
	5		個			
GX形 接合部品（異形管） φ 75						W0001
	4		組			
GX形 G-Link φ 75						W0001
	5		組			
フランジ 接合部品 RF7. 5K（SUS304） φ 75						W0001
	1		組			
フランジ 接合部品 GF7. 5K（SUS304） φ 75						W0001
	2		組			
土工						Y2A0101
バックホウ床掘 土砂 施工方法 上記以外(小規模)						SP2010 0 A=1, B=5
	9		m3			施工 第0-0005号表
機械投入埋戻工（流用土路体） 流用土						S6807 0 A=3, B=4
	6		m3			施工 第0-0006号表
機械投入埋戻工（山砂基礎） 砂						S6807 0 A=3, B=1, C=1. 1
	1		m3			施工 第0-0008号表

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
残土処理						Y3A010101
ダンプトラック運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	3	m3				SP2002 0 A=2, B=5, C=1, D=1, E=14 施工 第0-0009号表
処分費等						#0044 A=1, B=1, C=4
公共用残土仮置場（搬入）	3	m3				TST01 0
開削水替工						Y2A0101
開削水替	1	式				Y3A010101 工種 第0002号表
巻立工						Y2999
巻立工 300×300	7.6	m				V0102 0 施工 第0-0020号表
仮設管撤去						Y2999

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設管撤去工						Y3999
硬質塩化ビニル管撤去工 φ 75mm						V0911 0
	26.9	m				施工 第0-0024号表
附帯工（移設）						Y1A01
舗装工						Y2A0101
舗装工（砂利）						Y3A010101
路盤工 路盤厚10cm 全仕上り厚100mm						SP4003 0 A=100, B=1, C=3
	9	m2				施工 第0-0012号表
直接工事費						
運搬費						Z0004
		式				
仮設材等運搬費（往復） 製品長12m以内						S3107 0 A=2, B=1, C=1.5, D=1
	0.5	t				施工 第0-0025号表

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	仮設材等の積込み、取卸し費 往復分									S3108	0
										A=3	
準備費			0.5		t					施工	第0-0026号表
										Z0005	
	圧送管水替工 φ75 特殊強力吸引車				式						
										V0912	0
共通仮設費 (率分)					日					施工	第0-0027号表
共通仮設費計					式						
純工事費											
現場管理費											
					式						
現場管理費計											
工事原価											

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
一般管理費等											
					式						
工事価格											
消費税等相当額											
					式						
請負対象工事費											
工事価格計											
消費税等相当額計											
					式						
請負対象工事費計											

小 矢 部

工 種 明 細 表

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポンプ据付撤去工 1～2台					V0200 0
標準歩掛P74	1	現場			施工 第0-0010号表
ポンプ運転工 50mm×2 口径50mm*2 揚程5m 作業時排水 商用電源					V0202 0
標準部掛P74		日			施工 第0-0011号表
単位当り	1	式			

工 種 明 細 表

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポンプ据付撤去工 1～2台					V0200 0
標準歩掛P74	1	現場			施工 第0-0010号表
ポンプ運転工 50mm×2 口径50mm*2 揚程5m 作業時排水 商用電源					V0202 0
標準部掛P74		日			施工 第0-0011号表
単位当り	1	式			

施 工 内 訳 表

[名 称] 硬質塩化ビニル管布設工						10	m	当り
[規格1] φ75mm						[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
配管工			人					R2034
普通作業員			人					R2006
合計	10		m					
単位当り	1		m					

施工内訳表

頁0-0015

1	口	当り
---	---	----

[規格 2]

[illegible]

小 矢 部

施 工 内 訳 表

[名 称] メカニカル特殊継手工						1	口	当り
[規格1] φ75mm以下						[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
配管工			人				R2034	
普通作業員			人				R2006	
＊ ＊単位当り＊ ＊	1		口					

施 工 内 訳 表

[名 称] H形鋼賃料						1	t	当り
[規格1] H形鋼 200型						[規格2] 使用回数 1回		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
H形鋼賃料（杭用） 200型 4-6箇月	1.00		式					T7147
H形鋼修理費及び損耗費（杭用） 200型 標準	1.00		式					T7180 使用回数による補正
＊ ＊単位当り＊ ＊	1		t					
A=1 H形鋼（杭用）200型 F=1 使用回数 1回				E=2 現場条件 標準 G=1 修理費及び損耗費計上する				

施 工 内 訳 表

[名 称] バックホウ床掘			1 m3 当り		
[規格1] 土砂			[規格2] 施工方法 上記以外(小規模)		
機械構成比： 23.22%			標準単価： 1,898.2		
労務構成比： 69.53%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 7.25%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ	23.22%		バックホウ		MHH130
特殊運転手	37.61%		運転手(特殊) 東京単価		R2002
普通作業員	31.92%		普通作業員 東京単価		R2006
軽油 (パトロール)	7.25%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=5 上記以外(小規模)		

施 工 内 訳 表

[名 称] 機械投入埋戻工（流用土路体）			100			m3	当り
[規格1] 流用土			[規格2]				
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工			人				R2008
普通作業員			人				R2006 バックホウ投入補助＋タンパ締固補助
バックホウ運転 2次基準排対 (機-1)			時間				S1320
タンパ締固め	100.00		m3				SP2015 施工 第0-0007号表
諸雑費	1		式				#90
合計	100		m3				
単位当り	1		m3				
A=3 バックホウ				B=4 発生土			

施 工 内 訳 表

[名 称] タンパ締固め			[規格 2]			1	m3	当り
[規格 1]			[規格 2]					
機械構成比： 1.45%			労務構成比： 97.12%			材料構成比： 1.43%		
						市場単価構成比： 0.00%		
						標準単価： 1,340.7		
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単 価(東京地区)	備 考	
タンパ賃料		1.45%		タンパ及びランマ 東京単価 質量60～80kg			T7285	
特殊作業員		51.92%		特殊作業員 東京単価			R2005	
普通作業員		45.20%		普通作業員 東京単価			R2006	
ガソリン JIS2号レギュラ		1.43%		ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド			T3004	
積算単価				積算単価			EP001	

S6807

施 工 内 訳 表

施工 第0-0008号表

頁0-0021

[名 称] 機械投入埋戻工（山砂基礎） [規格1] 砂						100	m3	当り
[規格2]								
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考		
土木一般世話役 一般施工			人			R2008		
普通作業員			人			R2006 バックホウ投入補助+タンパ締固補助		
砂 （細目・荒目）	110.00		m3			T4041 埋戻し用		
バックホウ運転 2次基準排対 （機-1）			時間			S1320		
タンパ締固め	100.00		m3			SP2015 施工 第0-0007号表		
諸雑費	1		式			#90		
合計	100		m3					
単位当り	1		m3					
A=3 C=1.1 バックホウ 土量変化率				B=1 砂				

小 矢 部

施 工 内 訳 表

[名 称] ダンプトラック運搬				1	m3	当り	
[規格1] 小規模		[規格2] 土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
機械構成比： 27.16%		労務構成比： 60.81%		材料構成比： 12.03%		市場単価構成比： 0.00%	
				標準単価： 1,709.5			
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック		27.16%		ダンプトラック			M1331
一般運転手		60.81%		運転手（一般） 東京単価			R2015
軽油 (パトロール)		12.03%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油			T3002
積算単価				積算単価			EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=14 6.0km以下				B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間 無し			

施 工 内 訳 表

[名 称] ポンプ据付撤去工						1	現場	当り
[規格1] 1～2台						[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
普通作業員			人				R2006	
単位当り	1		現場					

施 工 内 訳 表

[名 称] ポンプ運転工 50mm×2						1	日	当り
[規格1] 口径50mm*2 揚程5m 作業時排水			[規格2] 商用電源					
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考		
特殊作業員			人			R2005		
普通作業員			人			R2006		
工事用水中ポンプ損料 口径50mm 揚程5m			日			T7480		
工事用水中ポンプ損料 口径50mm 揚程5m			日			T7480		
諸雑費			%			#09 電力料及び吐出配管・水槽損料等		
単位当り	1		日					

SP4003

施 工 内 訳 表

施工 第0-0012号表

頁0-0025

[名 称] 路盤工 路盤厚10cm			1 m2 当り		
[規格1] 全仕上り厚100mm			[規格2]		
機械構成比： 6.39%			標準単価： 691.4		
労務構成比： 69.63%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 23.98%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
小型バックホウ賃料	3.31%		小型バックホウ (クローラ型) 東京単価 山積0. 1 1 m 3 (平積0. 0 8 m 3)		T7280
振動ローラ賃料	2.90%		振動ローラ (舗装用) 東京単価 [搭乗・コンバインド式] 質量3～4 t		T7284
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	29.26%		普通作業員 東京単価		R2006
特殊運転手	24.60%		運転手 (特殊) 東京単価		R2002
特殊作業員	13.75%		特殊作業員 東京単価		R2005
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生砕石 RC-40	22.04%		再生クラッシュラン 東京単価 RC-40 平均仕上がり厚 100mm		T4090
軽油 (パトロール)	1.89%		軽油 東京単価 1. 2 号 パトロール給油		T3002
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001

小 矢 部

施 工 内 訳 表

[名 称] 鋳鉄管布設工 (機械)						10	m	当り
[規格1] φ75mm以下						[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
配管工			人					R2034
普通作業員			人					R2006
クレーン付きトラック運転工 4t積、2.9t吊			時間					W0001
合計	10		m					
単位当り	1		m					

施 工 内 訳 表

[名 称] 鋳鉄管切断工 (エンジンカッター)						1	口	当り
[規格1] φ75mm			[規格2]					
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備	考	
特殊作業員			人			R2005		
普通作業員			人			R2006		
エンジンカッター(ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰﾄﾞ) 損料 ﾌﾞﾚｰﾄﾞ 径305mm程度・排気量70cc程度			日			W0001		
諸雑費			%			#09		
＊ ＊単位当り＊ ＊	1		口					

施 工 内 訳 表

[名 称] GX形継手工 (直管)						1	口	当り
[規格1] φ75mm						[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考		
配管工			人			R2034		
普通作業員			人			R2006		
諸雑費			%			#09		
＊ ＊単位当り＊ ＊	1		口					

施 工 内 訳 表

[名 称] GX形継手工（異形管）						1	口	当り
[規格1] φ75mm						[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
配管工			人					R2034
普通作業員			人					R2006
諸雑費			%					#09
単位当り	1		口					

施 工 内 訳 表

[名 称] GX形継手工（異形管）G-Link						1	口	当り
[規格1] φ75mm			[規格2]					
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
配管工			人					R2034
普通作業員			人					R2006
諸雑費			%					#09
＊ ＊単位当り＊ ＊	1		口					

施 工 内 訳 表

[名 称] 伸縮可とう管設置工						1	基	当り
[規格1] φ100以下						[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
配管工			人				R2034	
普通作業員			人				R2006	
クレーン付きトラック運転工 4t積、2.9t吊			時間				W0001	
諸雑費			%				#09	
＊ ＊単位当り＊ ＊	1		基					

施 工 内 訳 表

[名 称] フランジ継手工						1	口	当り
[規格1] φ75mm(80)以下			[規格2]					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考			
配管工		人			R2034			
普通作業員		人			R2006			
諸雑費		%			#09			
＊ ＊単位当り＊ ＊	1	口						

施 工 内 訳 表

[名 称] 巻立工						10	m	当り
[規格 1] 300×300						[規格 2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
基礎碎石 碎石の厚さ 7.5cmを超え12.5cm以下	4		m2				SP2030	施工 第0-0021号表
型枠 一般型枠 小型構造物	6		m2				SP2084	施工 第0-0022号表
コンクリート 小型構造物 人力打設	0.83		m3				SP2082	施工 第0-0023号表
合計	10		m					
単位当り	1		m					

SP2030

施 工 内 訳 表

施工 第0-0021号表

頁0-0035

[名 称] 基礎砕石			1 m2 当り		
[規格1] 砕石の厚さ 7.5cmを超え12.5cm以下			[規格2]		
機械構成比： 4.78%			標準単価： 942.25		
労務構成比： 77.15%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 18.07%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ賃料	4.75%		バックホウ (クローラ型) 東京単価 山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)		T7279
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	40.16%		普通作業員 東京単価		R2006
特殊作業員	17.48%		特殊作業員 東京単価		R2005
土木一般世話役 一般施工	9.93%		土木一般世話役 東京単価		R2008
特殊運転手	9.05%		運転手 (特殊) 東京単価		R2002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生砕石 RC-40	15.28%		再生クラッシュラン 東京単価 R C - 4 0		T4090
軽油 (パトロール)	2.78%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001

小 矢 部

[illegible]

SP2084

施 工 内 訳 表

施工 第0-0022号表

頁0-0037

[名 称] 型枠			1 m2 当り		
[規格 1] 一般型枠			[規格 2] 小型構造物		
機械構成比： 0.00%			標準単価： 7,449.4		
労務構成比： 100.00%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 0.00%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型枠工	45.50%		型わく工 東京単価		R2030
普通作業員	30.09%		普通作業員 東京単価		R2006
土木一般世話役 一般施工	11.37%		土木一般世話役 東京単価		R2008
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠			B=2 小型構造物		

施 工 内 訳 表

[名 称] コンクリート			[規格 2] 人力打設			1	m3	当り
[規格 1] 小型構造物			市場単価構成比： 0.00%			標準単価： 26,609		
機械構成比： 0.00%			材料構成比： 55.40%			標準単価： 26,609		
代 表 機 労 材 規 格		構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単価(東京地区)	備 考	
普通作業員		25.35%		普通作業員 東京単価			R2006	
特殊作業員		8.71%		特殊作業員 東京単価			R2005	
土木一般世話役 一般施工		8.27%		土木一般世話役 東京単価			R2008	
その他(労務)				その他(労務)			ER009	
生コンクリート 高炉18－ 8－40 W/C≤60%		55.40%		生コンクリート 東京単価 高炉 18-12-25(20) W/C 55%			T3973	
積算単価				積算単価			EP001	
A=2	小型構造物			B=4	人力打設			
C=7	高炉18－ 8－40 W/C≤60%			E=2	一般養生			
G=2	現場内小運搬 無し			L=1	生コン小型車割増なし			

施 工 内 訳 表

[名 称] 硬質塩化ビニル管撤去工						10	m	当り
[規格1] φ75mm						[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
配管工			人					R2034
普通作業員			人					R2006
合計	10		m					
単位当り	1		m					

施工内訳表

頁0-0040

[illegible]

小 矢 部

施 工 内 訳 表

[名 称] 仮設材等の積込み、取卸し費						1	t	当り
[規格1] 往復分						[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
積込み、取卸し費（仮設材等） 片道分（基地→現場）	1.00		t					K0121
積込み、取卸し費（仮設材等） 片道分（現場→基地）	1.00		t					K0122
＊＊単位当り＊＊	1		t					
A=3 往復分								

施 工 内 訳 表

[名 称] 圧送管水替工						1	日	当り
[規格1] φ75						[規格2] 特殊強力吸引車		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
10tダンパー車損料 8時間対応			日					W0001
管路助手（日中対応） 8h			人					W0001
＊＊単位当り＊＊	1		日					

機 労 材 集 計 表

頁0-0043

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	K0121	199		0.5	積込み、取卸し費（仮設材等）	その他機械損料
2	K0122	199		0.5	積込み、取卸し費（仮設材等）	その他機械損料
3	MHH107	190			バックホウ	掘削積込機損料
4	R2002	18			特殊運転手	特殊運転手
5	R2005	11			特殊作業員	特殊作業員
6	R2006	12			普通作業員	普通作業員
7	R2008	25			土木一般世話役	一般土木世話役
8	R2034	32			配管工	配管工
9	T3002	66			軽油	軽油
10	T4041	50		1.54	砂	砂
11	T7000	1		0.5	運賃	測量用材料
12	T7147	180			H形鋼賃料（杭用）	仮設材損料
13	T7180	180		0.5	H形鋼修理費及び損耗費（杭用）	仮設材損料
14	T7480	44			工事用水中ポンプ	建設機械賃料
15	TST01	189		3.5	公共用残土仮置場（搬入）	投棄料
16	WXXXX	966				
17	WXXXX	968				

小 矢 部

[仮設計画]

補償路線

[illegible]

舗装数量計算表 (本復旧)

補償路線

未舗装

路線 番号	マンホール 番 号	舗 装 種 別	舗 装 復 旧															舗 装 切 断 工						舗装版破碎工		備 考		
			本				管				取		付				管		合 計		本 管	取 付	管 延	合	舗 装 盤 掘 削 m2		舗 装 残 土 m3	
			平均 掘削 深	開 削 工 法	延 長	路 幅	盤 面 積 m2	表 幅	層 面 積 m2	箇 所 数	平均 掘削 深 m	路 盤		表 層		路 盤 面 積 m2	表 層 面 積 m2	本 列 数	延 長 m	箇 所 数	一延 ヶ所 当り 長 m	管 延 長 m	合 計 m					
	延 長 m											幅 m	面 積 m2	延 長 m	幅 m									面 積 m2				
15	IP. 1																											
	IP. 2	未舗装			5.89																						補償	
	IP. 2																											
	IP. 3	未舗装			10.50																						補償	
	IP. 3																											
	IP. 4	未舗装			10.22																						補償	
	IP. 4																											
	IP. 5	未舗装	0.64	素掘り	2.50	0.68	1.7										1.7										補償	
	計				29.11		1.7											1.7										

上段：道路左側

下段：道路右側

上段：道路左側

下段：道路右側

圧送管材料計算表 [仮設計画]

管 番 号	測 点	区間 延長	管 控 除	管材 (HIVP φ 75)							管材 (DIP φ 75)						
				直管	曲 管					離脱 防止 金具	直管	曲 管					VC ドレ ッ サー
					90°	45°	22° 1/2	11° 1/4	5° 5/8			90°	45°	22° 1/2	11° 1/4	5° 5/8	
		m	m	m	個	個	個	個	個	個	m	個	個	個	個	個	個
15	IP. 1 ~ IP. 2	5. 89	0. 62	5. 27		1				1							1
	IP. 2 ~ IP. 3	10. 50	0. 77	9. 73	1					1							
	IP. 3 ~ IP. 4	10. 22	0. 56	9. 66	1					1							
	IP. 4 ~ IP. 5	2. 82	0. 59	2. 23			1										
	IP. 5 ~ M24-1-1					1	1										1
	合計	29. 43		26. 89	2	2	2			3							2

[仮設計画]

名 称	計 算 式	数 量
H形鋼 H200×200×8×12	L=10.00 m	10.0 m

[復旧計画]

補償路線

[illegible]

舗装数量計算表 (本復旧)

補償路線

未舗装

路線 番号	マンホール 番 号	舗 装 種 別	舗 装 復 旧																舗 装 切 断 工						舗装版破碎工		備 考	
			本				管				取		付 管						合 計		本 管		取 付 管		合 計	舗 装 盤 掘 削 m2		舗 装 残 土 m3
			平均 掘削 深	開 削 工 法	延 長	路 幅	盤 面 積 m2	表 幅	層 面 積 m2	箇 所 数	平均 掘削 深 m	路 盤			表 層			路 盤 面 積 m2	表 層 面 積 m2	本 列 数	延 長 m	箇 所 数	一延 ヶ所 当り 長 m	延 長 m				
												延 長 m	幅 m	面 積 m2	延 長 m	幅 m	面 積 m2											
15	IP. 1	未舗装	0.77	素掘り	4.20	0.70	3.0										3.0											補償
	IP. 2																											
	IP. 2	未舗装			5.60																							補償
	IP. 3																											
	IP. 3	未舗装	0.80	素掘り	3.00	0.71	2.1										2.1										補償	
	+3.00																											
	+3.00	未舗装	1.43	素掘り	3.00	0.84	2.5										2.5										補償	
	IP. 4		1.41	素掘り	2.00	0.83	1.7										1.7										補償	
	M24-1-1	未舗装																										
	計					17.80		9.3										9.3										

上段：道路左側

下段：道路右側

上段：道路左側

下段：道路右側

1 号 マ ン ホ ール 数 量 計 算 書

補償路線

路線 番号	マン ホー ル 番号	マン ホー ル 深	マン ホー ル 底 版 深	マン ホ ール ブ ロ ッ ク																				鉄 蓋		底 部 工	削孔工		副管工		ブロック			備 考
				調 整 金 具		調整リング			片斜壁			直 壁						軀 体 部													底 版	据付高(m)		
				25	45	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	1.20		3.01	4.01						
				mm	mm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm		3.00	4.00	5.00					
		m	m	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	T-14	T-25	ヶ所	mm	ヶ所	m	ヶ所	ヶ所	ヶ所			
15	M24-1-1																									φ 75	1					補償		
																																補償		
																																補償		
																																補償		
																																補償		
計																									φ 75	1								

圧送管(直管)材料計算表 [復旧計画]

NO	管 種	接合方式	形 状		寸 法	数 量	備 考
1	ダクタイル鋳鉄管(ライナ付)	GX形	直管	切管	φ 75×4000	5 本	内面紛体塗装 ※切管明細書参照
2	ダクタイル鋳鉄管	GX形	直管		φ 75×4000	1 本	内面紛体塗装
計						6 本	

ダクタイル鋳鉄管切管明細書

NO	甲切管		備 考
	管種	寸法(mm)	
1	GX形	3520	ライナ付
2	GX形	1030	ライナ付
3	GX形	2850	ライナ付
4	GX形	2500	ライナ付
5	GX形	1460	ライナ付

圧送管(異形管)材料計算表 [復旧計画]

管 番 号	測 点	区間 延長	管 控 除	管 布 設 延 長	管 材 (DIP φ 75) [GX形]									備 考
					曲 管					短管		可とう 伸縮管	VC ドレ ッ サー	
					90°	45°	22° 1/2	11° 1/4	5° 5/8	1号	2号			
		m	m	m	個	個	個	個	個	個	個	個	個	
15	IP. 1 ～ IP. 2	4. 36	0. 84	3. 52			1	1			1	1		
	IP. 2 ～ IP. 3	5. 60	0. 57	5. 03			2							
	IP. 3 ～ +3. 00	3. 27	0. 42	2. 85		1								
	+3. 00 ～ IP. 4	3. 00	0. 50	2. 50			1							
	IP. 4 ～ M24-1-1	2. 00	0. 54	1. 46			1	1		1	1			
	合計	18. 23		15. 36		1	5	2		1	2	1		

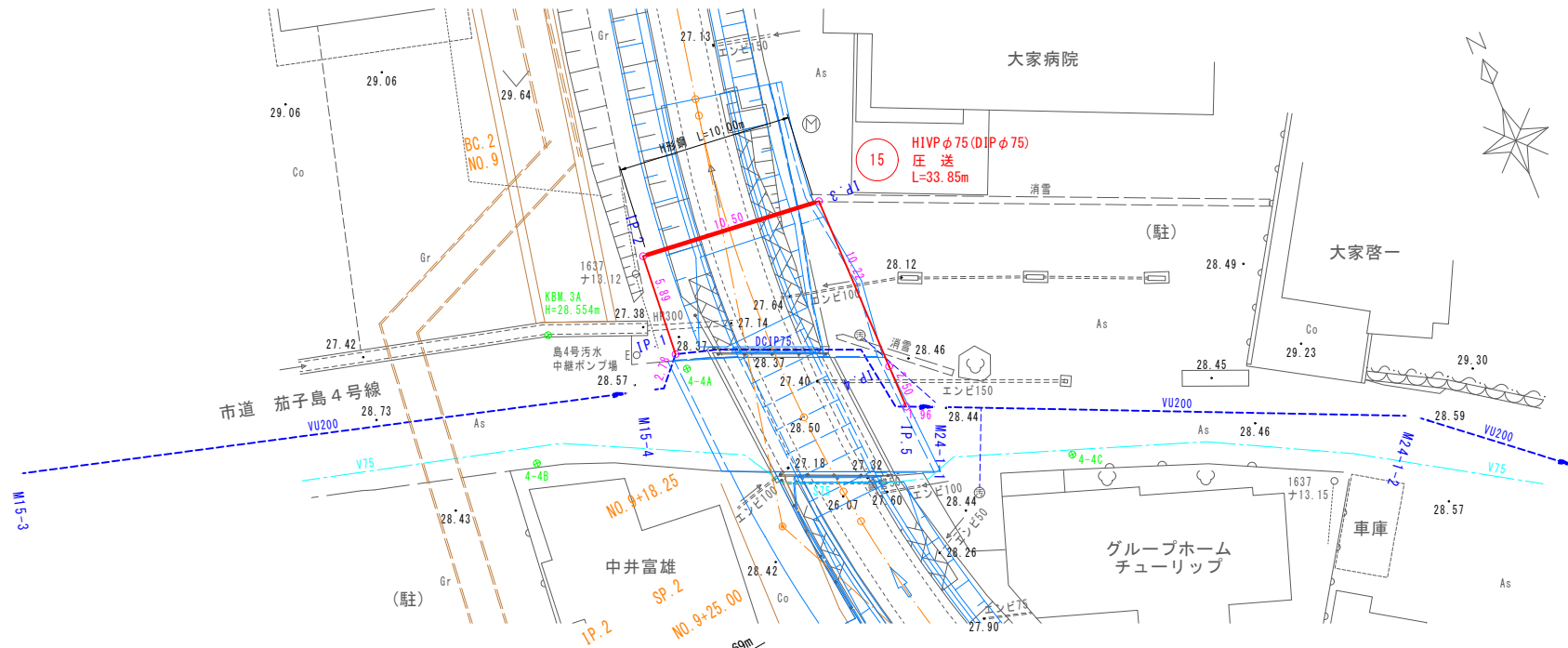
[復旧計画]

名 称	計 算 式	数 量
卷立工 φ 75	$L=4.36+3.27=7.63$	7.6 m
保温材加工 φ 75	$L=4.60\text{ m}$	4.6 m

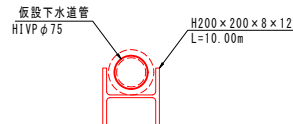


平面図 S=1:200

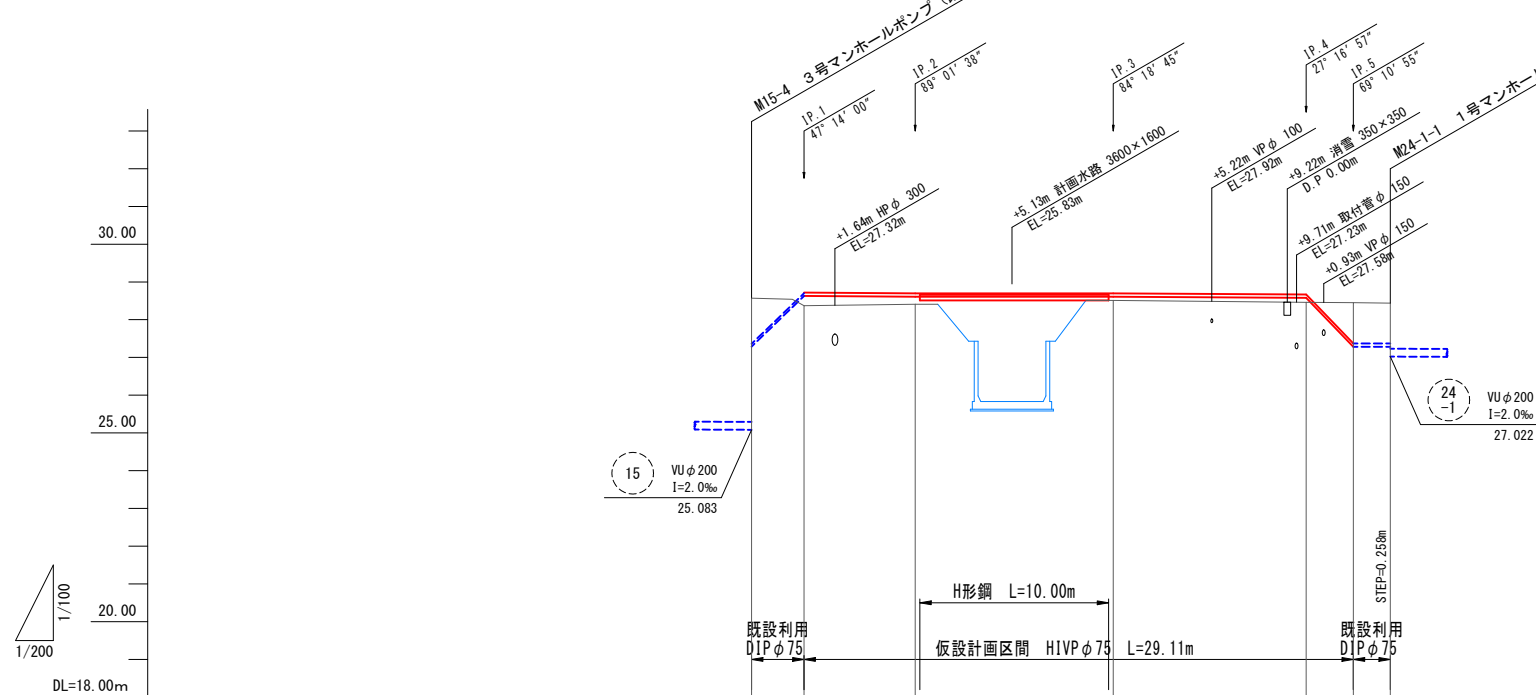
[仮設計画]



断面詳細図 S=1:10



縦断面図 Sv=1:100, Sh=1:200



H形鋼 200×200							
名 称	寸 法	長 さ (m)	数 量 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	重 量 (kg)	摘 要
H形鋼	H200×200	10.0	1	49.9	499.0	499.0	

凡 例	
記 号	名 称
---	既 設 管 路
—●—	計 画 管 路
---	将 来 計 画
●	1 号 マン ホール
○	小口径マンホール
◎	2 号 マン ホール
⊙	マンホールポンプ
—●—	副管付マンホール
○	汚水樹 及 取付管
●	汚水樹 及 取付管(無)
10	管 番 号
PPφ150 I=3.0‰ L=60.00m	管 径・勾 配・延 長
---	上 水 道 管
---	下 水 道 管

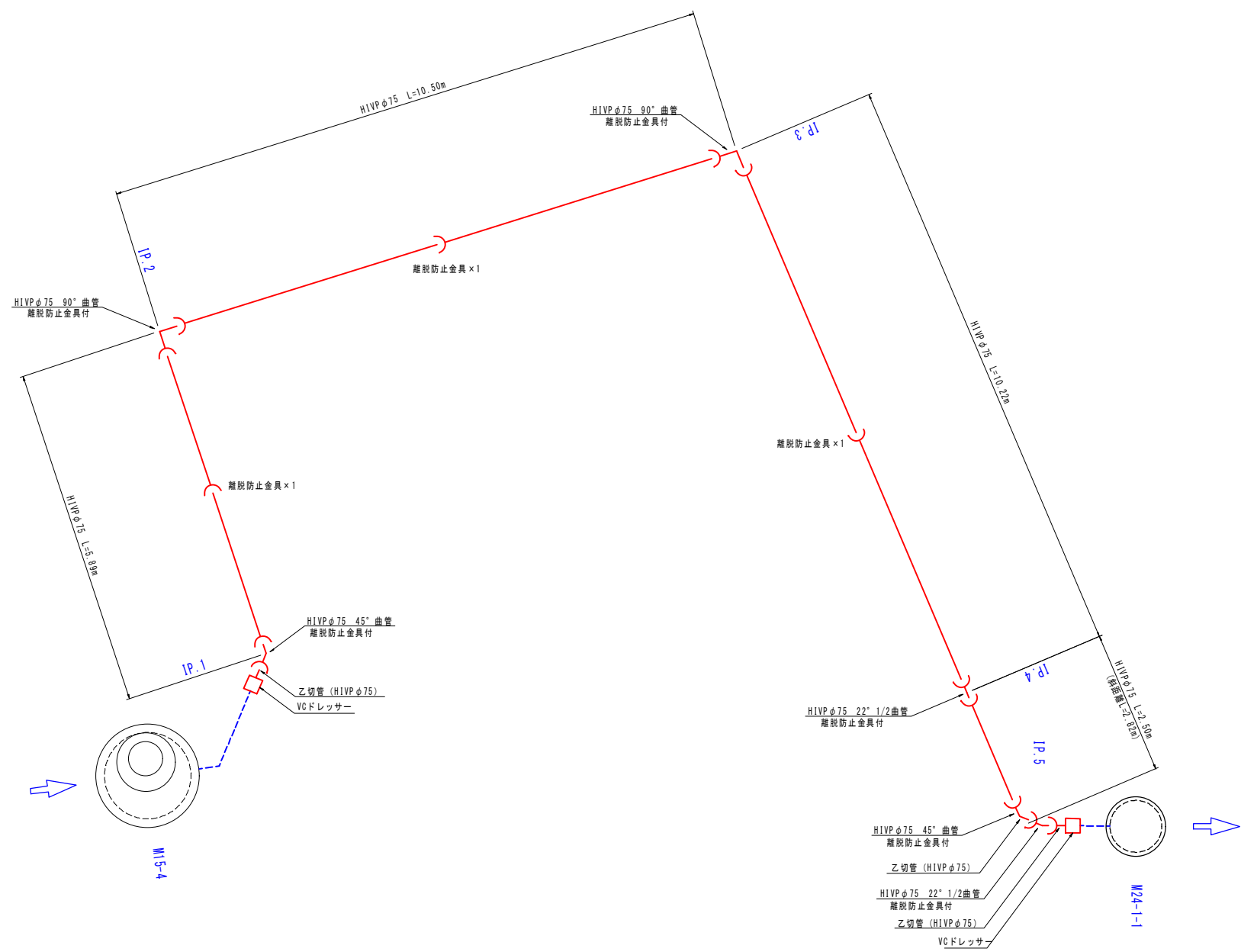
管 番 号 管 径・勾 配	15 HIVPφ75 (DIPφ75) 圧 送 L=33.85m									
掘 削 深	1.39	-0.15	-0.15	-0.09	0.01	-0.01	1.28	1.28	1.27	
掘 削 敷 高	27.177	28.518	28.522	28.504	28.504	28.473	27.174	27.170	27.170	
土 被 り	1.20	-0.34	-0.35	-0.30	-0.20	-0.21	1.08	1.09	1.08	
地 盤 高	28.57	28.37	28.41	28.51	28.51	28.46	28.45	28.44		
計 画 管 底 高	27.285	28.628	28.610	28.610	28.610	28.579	27.280	27.280		
追 加 距 離	0.00	2.78	8.67	19.17	29.39	31.89	33.85			
区 間 距 離	0.00	2.78	5.89	10.50	10.22	2.50	1.96			

15

工 事 名	県河川工事に伴う島地区管移設工事		
図 面 名	平面図・縦断面図(仮設計画)		
縮 尺	H=1:200 V=1:100	図面番号	
作成年月日	令和	年	月 日
課 長	係 長	照 査	設 計 製 図
小 矢 部 市 上 下 水 道 課			

管 割 図 (仮設計画)

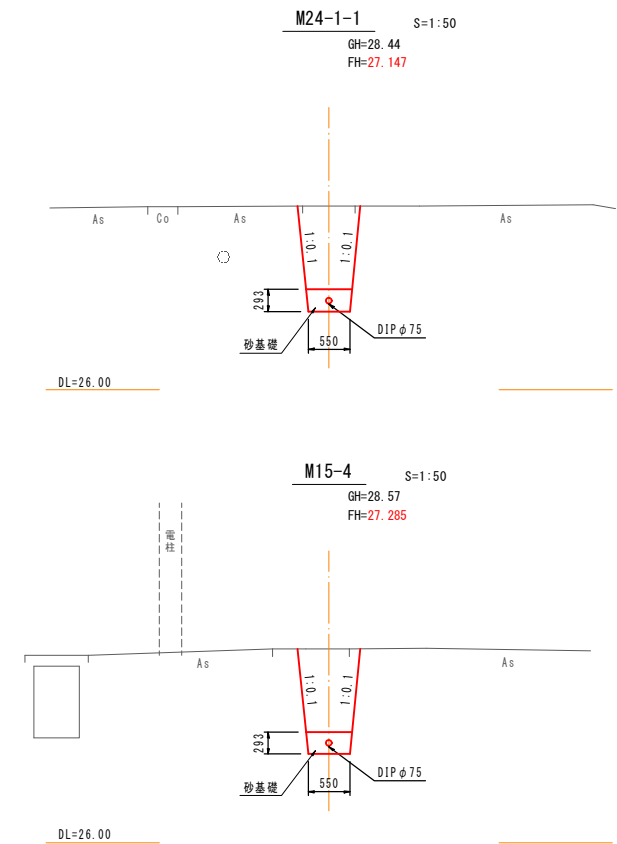
S=Free

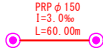


凡 例	
	片受直管 (甲切管)
	曲管 (片受)
	VCドレesser

工 事 名	県河川工事に伴う島地区管移設工事			
図 面 名	管割図 (仮設計画)			
縮 尺	S=Free	図面番号		
作成年月日	令和	年	月	日
課長	係長	照査	設計	製図
小 矢 部 市 上 下 水 道 課				

[復旧計画]

[illegible]

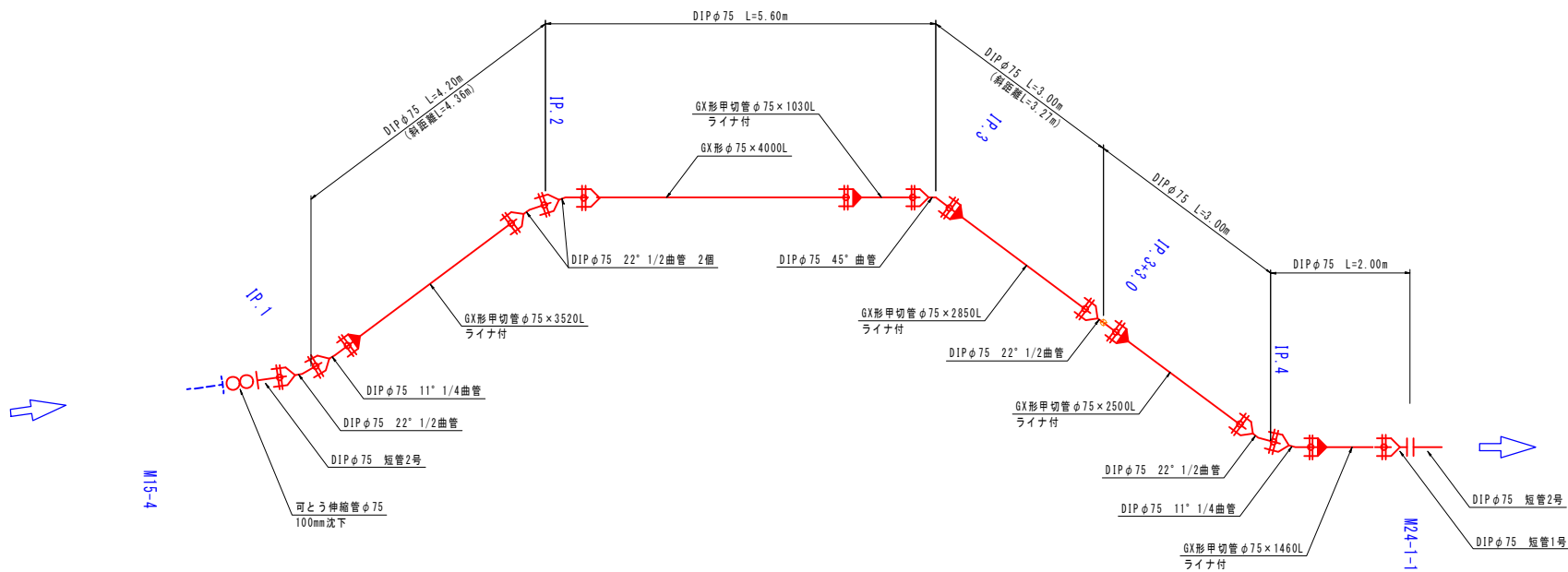
凡 例	
記 号	名 称
	既 設 管 路
	計 画 管 路
	将 来 計 画
	1 号 マン ホール
	小口径マン ホール
	2 号 マン ホール
	マンホールポンプ
	副管付マン ホール
	汚水樹 及 取付管
	汚水樹 及 取付管(無)
	管 番 号
	管 径・勾 配・延長
	上 水 道 管
	下 水 道 管

15

工 事 名		県河川工事に伴う島地区管移設工事			
図 面 名		平面図・縦断面図(復旧計画)			
縮 尺		H=1:200 V=1:100		図面番号	
作成年月日		令和 年 月 日			
課長	係長	照査	設計	製図	
小矢部市上下水道課					

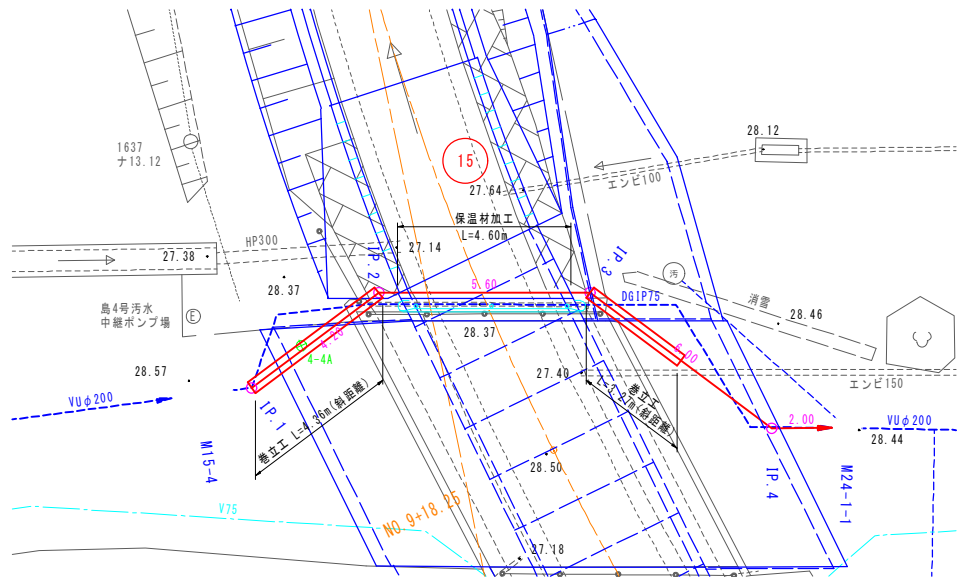
管 割 図 (復旧計画)

S=1:50



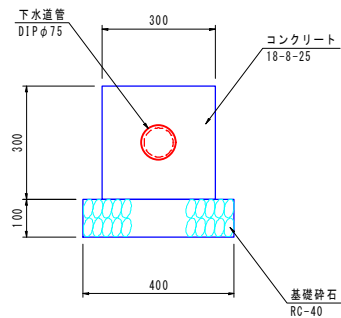
平面図

S=1:100



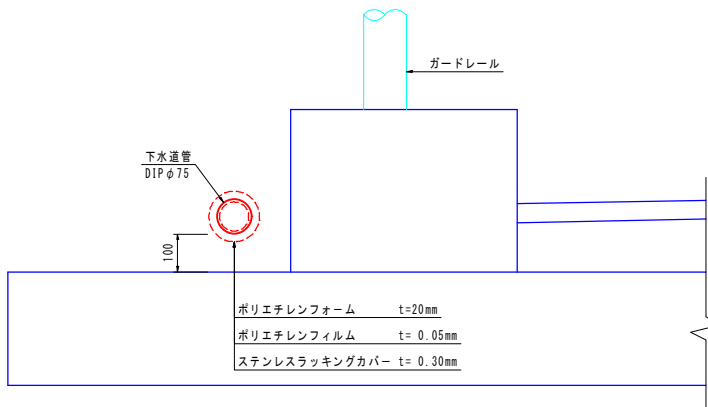
巻 立 工

S=1:10



BOX横断面部

S=1:10



巻 立 工 数 量 計 算 書

10.00m当り

名 称	規 格	計 算 式	数 量
基礎砕石	RC-40, t=10cm	$0.40 \times 10.00 = 4.000$	4.00 m ²
型 枠		$0.30 \times 10.00 \times 2 = 6.000$	6.00 m ²
コンクリート	18-8-40	$(0.30 \times 0.30 - 1/4 \times 0.093^2 \times 3.14) \times 10.00 = 0.832$	0.83 m ³

保 温 材 数 量 計 算 書

10.00m当り

名 称	規 格	計 算 式	数 量
ポリエチレンフォーム	t=20mm	$L=10.00m$	10.00 m
ポリエチレンフィルム	t=0.05mm	$L=10.00m$	10.00 m
ステンレスラッキングカバー	t=0.30mm	$L=10.00m$	10.00 m